

選定の理由（西濃地区：小学校）

種目	発行者	理 由
国 語	光 村	書名＜国語＞
		単元で身に付ける力が明確で、学習の手順が児童に分かりやすい言葉で記されている。巻頭ページで、どんな学習を通して、どんな言葉の力を付けるのかを示し、「問い」を出発点とする学びを意図的に仕組むことで、児童の意欲をかき立て、次の学びへの意欲につながるよう工夫されている。 西濃地区の国語科では、「国語科の学習と他教科・多領域を結び付けた学習」が求められている。本教科用図書は、各領域の単元が系統的に配置され、教科横断的な学習となる題材が取り上げられている。また、単元・教材の学びが次の学びに生かすことができるよう繋がりのある配置がされている。
書 写	光 村	書名＜書写＞
		二次元コードが各学年１５個以上あり、お手本となる動画がいくつか設定されているため、分からないところを視覚的に学べるように配慮されている。 西濃地区の国語科では、「学習の見通しをもてる指導によって、主体的な課題解決の過程を実現するための工夫を図ること」が求められている。本教科用図書では、児童が文字を書く楽しさや喜びを体感できるように、主体的に取り組める言語活動が多く提示されている。学習の前後での自己の変容を実感し、達成感を感じられるように学習内容が焦点化されている。
社 会	東 書	書名＜新編 新しい社会＞
		「つかむ→調べる→まとめる→いかす」で構成し、単位時間の役割を明らかにし、児童が見通しをもって問題解決的な学習できるよう工夫されている。資質・能力の三つの柱に関わる指導内容がバランスよく構成されるよう、配慮されている。 西濃地区の社会科では、「社会科で育む資質・能力を育成する指導計画を工夫すること」が求められている。本教科用図書では、児童が社会的な見方・考え方を働かせ、主体的に学べる学習展開を意識した構成がなされている。また、単元終末に多様な形態の学習活動を位置付ける等、学びを深める工夫が凝らされている。

地 図	帝 国	書名＜楽しく学ぶ 小学生の地図帳＞
		児童が興味・関心をもって学び、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるように、作業的な学習が多く位置付けられている。さらに、児童が主体的に地図帳を活用できるように、「トライ！地図マスターへの道」のコーナーを設置し、地図活用の技能や社会科の知識を身につけたり、社会的な見方・考え方を働かせたりすることができるよう工夫されている。 西濃地区の社会科では、「課題解決に向けて児童が自ら求めて地図帳を活用する指導」が求められている。本教科用図書では、地図帳の使い方を説明する資料が豊富であり、資料図や統計資料も豊富で、個の学習状況に応じて資料を選び、補充的・発展的な学習ができるように配慮されている。
算 数	大 日 本	書名＜新版 たのしい算数＞
		学習内容を日常生活に生かしたり、数学的な見方・考え方を他教科に生かしたりするコーナーを設定し、活用から学びを深めることができるよう配慮されている。また、考えをもつきっかけとなる言葉を位置付け、それをヒントに主体的な学習を進めることができるよう工夫されている。 西濃地区の算数科では「主体的・対話的で深い学びにつながるよう、数学的な見方・考え方を働かせながら課題解決できる授業改善」が求められている。本教科用図書は、数学的な見方・考え方を働かせながら、算数を生活に生かすことができるよう配慮されており、その実現に適したものである。
理 科	東 書	書名＜新編 新しい理科＞
		全単元において、児童が主体的に問題解決学習を進めることができるよう、学習の流れが「見える化」された構成となっている。特に、課題解決の道筋を明確にしながら、紙面構成を児童の意識や興味関心が持続するように工夫されている。また、豊富なデジタルコンテンツは、児童の学びを力強くサポートするものとなっている。 西濃地区の理科では、「資質・能力の三つの柱をバランスよく育成すると共に、これから必須となる ICT を利活用していく学習活動」が求められている。本教科用図書は、全学年全単元に二次元コードの配置の工夫や何のための説明かが示されているなど、児童が学びを深めるために ICT を活用しやすいよう配慮されている。

生 活	啓 林 館	書名＜せいかつ＞
		全単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の３段階構成で構成され、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。学びを支える写真資料も豊富に掲載され、他教科や他学年とのつながりを大切にした構成になっており、児童の学びを支えることができるよう配慮されている。 西濃地区の生活科では「指導と評価の一体」が求められている。本教科用図書では、各単元末のページには、振り返りの視点を資質・能力の３つの柱で整理され、自己評価の視点となっており、児童自身が学習を振り返ることができるよう、工夫されている。
音 楽	教 芸	書名＜小学生の音楽＞
		表現及び鑑賞の活動を系統的に配列し、教材単位ではなく、題材全体で評価することができるよう、題材の構成が工夫されている。 西濃地区の音楽科では、「音や音楽から『知覚・感受』したことを基に、児童生徒一人一人が自分の考えをもって仲間と交流し、自分の考えや音楽表現の変容を実感できる仕組みをつくること」が求められている。本教科用図書では、題材ごとに「何を学ぶか」「何ができるようになるか」を明確にし、音楽科で目指す資質・能力を「考える」「見つける」「歌う・演奏する」というアイコンで示すことで、身に付けたい三つの柱にかかわって主体的な学習活動を引き出すことができるよう配慮されている。
図 画 工 作	日 文	書名＜図画工作＞
		学習指導要領に示された各学年の目標を受けて、すべての題材について、資質・能力の三つの柱にかかわる目標が位置付いており、各題材で伸ばしたい資質・能力が分かりやすいように工夫されている。 西濃地区の図画工作科では、「全ての子どもが主体的に学べる指導計画の工夫改善」が求められている。本教科用図書は、題材の概要を示す導入文が問いかける文型で示されたり、表現に結び付くヒントとなるような言葉が記載されたりするなど、児童が主体的に学ぶことができるよう配慮されている。

家庭	東書	書名＜新編 新しい家庭＞
		児童自身が生活の中から課題を見つけるための見方・考え方を「家庭科の窓」と設定し、それぞれの題材で行う多くの活動を通して、何ができるようになるのか見通しをもって課題解決できる子を育成する工夫がなされている。 西濃地区の家庭科では、「主体的な家庭学習を支え、充実させる等、多様な学びを支援する教育の充実」が求められている。本教科用図書では、題材ごとに「話し合おう」「考えよう」「調べよう」のいずれかの活動から始まり、最後には「深めよう」の活動が設定され、主体的・対話的で深い学びの授業改善が行える工夫がされている。
保健	東書	書名＜新しい保健＞
		全単元を通して、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成できるような構成がなされている。また、豊富な動画やデジタルコンテンツが用意され、ICT を活用して主体的に学ぶための工夫がなされている。 西濃地区の保健では「知識・技能を身に付け、思考・判断して、自ら健康課題を克服していくこと」が求められている。本教科用図書では、今日的な課題に対する予防や方法について示され、技能を身に付ける実習が位置付けられており、よく配慮されている。
英語	東書	書名＜NEW HORIZON Elementary English Course＞
		主体的に学習できるように、児童が興味関心を抱くようなトピックがあり、聞く活動から話す活動、書く活動へ自然に取り組めるように構成されている。また、伝統文化や文化に関する題材を豊富に取り上げ、世界について知り、日本との繋がりを考える活動を通して、学びに向かう力を育む工夫がされている。 西濃地区の英語科では、「『目的、場面、状況』をもとに、伝えたい内容やそのための表現を主体的に思考・判断することができる言語活動を工夫すること」が求められている。本教科用図書は、4 技能 5 領域についてバランスよく構成され、単元の構成内容や観点が明確化されているなど、目的意識や課題意識をもち、主体的に自分の考えや気持ちをやり取りすることができるよう工夫されている。

道徳	光村	書名＜道徳 きみがいちばんひかるとき＞
		議論に値する資料が適切に取り上げられ、いじめや生命に関する資料を重点的に配置しつつ、価値項目ごとにバランスよく配列された構成となっている。また、一つ一つの資料が丁寧に描かれており、様々な考えを出し合いながら児童の深い思考を生み出し、多面的・多角的な学びができるよう工夫されている。 西濃地区の道徳科では、「ICT の活用」が求められている。本教科用図書においても、デジタルコンテンツが充実しており、音声、画像、動画等を用いて、学びを広げたり深めたりするよう工夫されている。